

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年5月30日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年5月24日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ノーザン州立大学 (日本語名) Northern State University (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月下旬 2 学期: 1月中旬～5月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 3000 人
創立年	1901年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 160 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	交換留学のため
宿舍費	7000	円	
食費	4000	円	
図書費		円	
学用品費	300	円	教科書代
携帯・インターネット費	150	円	月 15ドル
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	3000	円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		95260 円	形態:
渡航旅費		430000 円	
ビザ申請費		50000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	14450 (=2,319,702 円)	565260 円	
総計(A+B) ※円		2,884,962 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：羽田 目的地：アバディーン(ABR) 経由地：ミネアポリス
復路 出発地：アバディーン(ABR) 目的地：羽田 経由地：ミネアポリス
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：デルタ航空 料金：23 万円 復路 航空会社：デルタ航空 料金：20 万円 ∴合計：43 万
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：)
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名：デルタ公式)
<input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： steele) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 0)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法：
大学からの案内
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私が滞在していた寮は 2 人部屋がリビングを挟んで 2 室ある最大四人で暮らせる部屋でした。トイレ、シャワー、洗面台はルームメイトもしくはスイートメイトと共有です。人が少ないので他の量に比べると静かです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

安全でした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学のwifiは特に問題ありませんでした。私は現地で格安simを契約しました。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

wiseカードで支払いしていました。現金も1000ドルほど持っていきましたがあまり使いませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

好きな日本のお菓子は持って行って損はないです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foundation of Communication		コミュニケーション基礎
科目設置学部・研究科	CMST	
履修期間	2025 Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Tanya White	
授業内容	効果的なスピーチの行い方について	
試験・課題等	小課題、スピーチ	
感想を自由記入	留学生に優しい教授でした。受講生の 8 割くらいが現地の生徒でしたがアットホームな雰囲気でも留学生にも受けやすいと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication	異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	CMST
履修期間	2025 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Tanya White
授業内容	異文化理解
試験・課題等	レポート、プレゼン
感想を自由記入	様々なテーマについてディスカッションします。多様な意見に触れることができるので興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Macroeconomics	マクロ経済学基礎
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	2025 fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	K. Lee
授業内容	マクロ経済学
試験・課題等	ペーパーテスト
感想を自由記入	アジア人の教授で、話すスピードもゆっくりなので、真剣に聞いていれば特に難しいことはないかと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	2025 fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr.G
授業内容	社会学入門
試験・課題等	ペーパーテスト、レポート
感想を自由記入	教授の英語は早い慣れればなんとかなった。レポートも自分なりに意見を書けば興味を持って来てコメントもしっかり返してくれる。社会学に興味があるなら取っておいて損はない授業かと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Microeconomics	ミクロ経済学
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	2026 spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	K. Lee
授業内容	ミクロ経済学
試験・課題等	ペーパーテスト
感想を自由記入	内容自体は難くないのでしっかりやればその分取れる授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Personal Finance	個人資産管理
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2026 spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が3回
担当教授	Josh VanLaecken
授業内容	個人で行うべき資産管理について
試験・課題等	小テスト、中間、期末テスト
感想を自由記入	金融リテラシーや財務計画について学べます。事前知識も特にいらなかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History of Western Civilization	西洋文明史
科目設置学部・研究科	HIST
履修期間	2026 spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Art Marmostein
授業内容	西洋文明史
試験・課題等	小レポート課題、中間、期末試験
感想を自由記入	授業内容が詰め詰めなので、進みが早いし教授の話すスピードも速い。世界史選択者はアドバンテージがあるかもしれない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
United History II		アメリカ史 II	
科目設置学部・研究科	HIST		
履修期間	2025 fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Ric Dias		
授業内容	南北戦争以降		
試験・課題等	中間、期末のペーパーテスト		
感想を自由記入	留学生に優しい教授でシラバスとは別に授業の概要プリントを配ってくれます。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

三年次での一年間の留学ということで、初めから留学中に就活を進める気はなく帰国後に休学して就活をしようと思っていました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ取得、書類作成、予防接種(もっと早くに取り組んだ方がいいです)、
	8月～9月	航空券購入、留学開始
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は漠然とアメリカに留学したいという思いから、自分が選べる協定校を複数志望し、明治大学から行き先を告げられました。ノーザン州立大学は中西部のド田舎にありますが、その分、人との繋がりをより感じる事が出来たと思います。現地の生徒も意外と暇してるので色々なアクティビティに誘ってくれます。都市部に比べると利便性は低いですが生活していく上で困ることは基本的にはないです。町に韓国系や中国系のアジアマーケットはありましたが日本の食品や調味料は手に入れづらかったです。治安も比較的の良いほうで、道を歩いていて不穏な空気を感じることは一切ありませんでした。

基本的に現地で何か困ることがあっても、知り合いに相談したら何とかできるのでそこまで気負う必要はなく、出発前のビザの取得や予防接種などをしっかり準備できれば心配することはありません。